

「のぞき、つながる」



コンセプト

オートキャンプのみならずイベントで多様な使われ方をすることこの場所は、それに見合う包容力があればこそ長年愛されるのではないかと考えた。「のぞき、つながる」は誰もがここを通して未来への楽しい記憶を持ち帰れる炊事場を目指した。記憶を一度失ったこの土地で、また人々にとって大切な場所が生まれる事を願い、祈りがこもる施設とした。



各パースの説明

←ファサード側、事務所を越えると見えてくる景色。ここから覗くと北側の大型遊具や広場が同一軸線上に見えてくる。また切り欠いた屋根や広がる開口が来訪者を迎入れる。イベント時には周囲にあふれる広場が一体的に利用される様が見えてくる。

1.ファサード側からの俯瞰。東西に走る動線から、オートキャンプ利用者のスムーズな利用が考えられる。焼き芋場や西側事務所との連携を考慮したランドスケープにより、様々な場面での活気が予想される。

2.北側立面。ファサードとは打って変わってソノメトリーで豊かな一面を持つ。対称性により均等に十分な使い勝手が確保されている。飛び出した屋根はさながら千木であり、また火を扱う場所であることから、ヒュカンへの懸掛けの意も込められている。



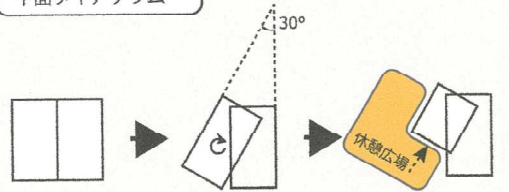
県総との関係

計画敷地はケンソーの南端に位置し、また周囲を並木や防風林で囲われている。オートキャンプ場の性質から、駐車場や車の動線が完全に分離しており、キャンプ場北側に存在する広場や通りから孤立している。

「のぞき、つながる」の高くシンボリックな屋根は並木を越えく視線で、キャンプ場と周囲との関係を繋ぎ直す。

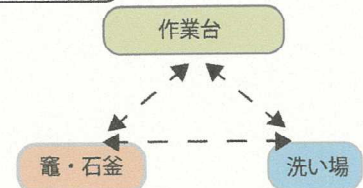
また、米軍による接収を受け失われた土地に対し、イベントやキャンプなどで「未来への楽しい記憶」を持ち帰った場所から、大切な祈りの場としての受け皿となっていくことを期待した。

平面ダイアグラム



- ①切妻屋根をかける
- ②屋根を 30° 回転
利用者がアプローチしやすいように南側道路側の開口をひろげるために西側屋根を回転させた。
- ③西側屋根をセットバック
西側屋根をセットバックすることで、休憩広場と一体的に利用できる計画とした。

動線ダイアグラム



作業動線を短くするために、作業台、竈・石釜、洗い場の要素を1ユニットとして考え、それぞれがまとまるように計画した。

① 配置・外構計画

- 南北に位置する両道路からの利用に配慮して、建物内に南北へつながる道を計画し、建築を南北に開いた。
- キャンプ利用者や事務所利用者、公園利用者などを考慮して、東西南北どこからでもアプローチできるように計画した。
- 周辺樹木を考慮し、基礎配置・躯体を計画した。また、イベントや家族等の利用を考慮して、樹木を含めて外部環境と屋内環境を一体的に利用できるように建物は配置した。
- 前面道路方向を広場として一体利用するために南側駐車場を撤去し、焼き芋イベント等、西側広場と連続した利用を考慮したランドスケープとした。

② 建築計画

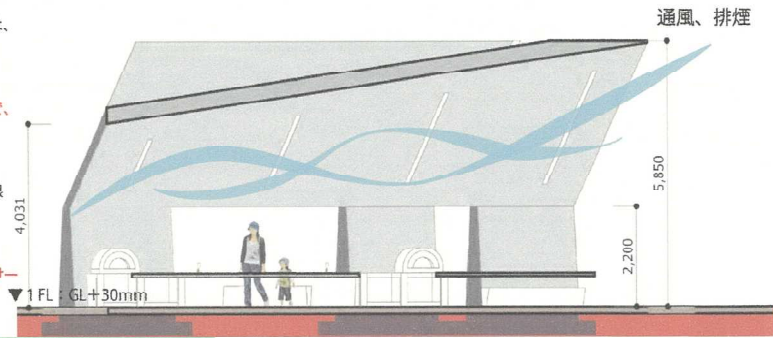
- 海近くに位置することを踏まえ、壁と天井には耐久性と耐水性に優れた「水性アクリルシリコン樹脂クリア塗装仕上げ」とし、台風及び塩害から守る。
- シンブルな構成により、構造的強度を確保している。また袋小路をなくすことで風が通り抜け、風圧に配慮。

③ 維持管理計画

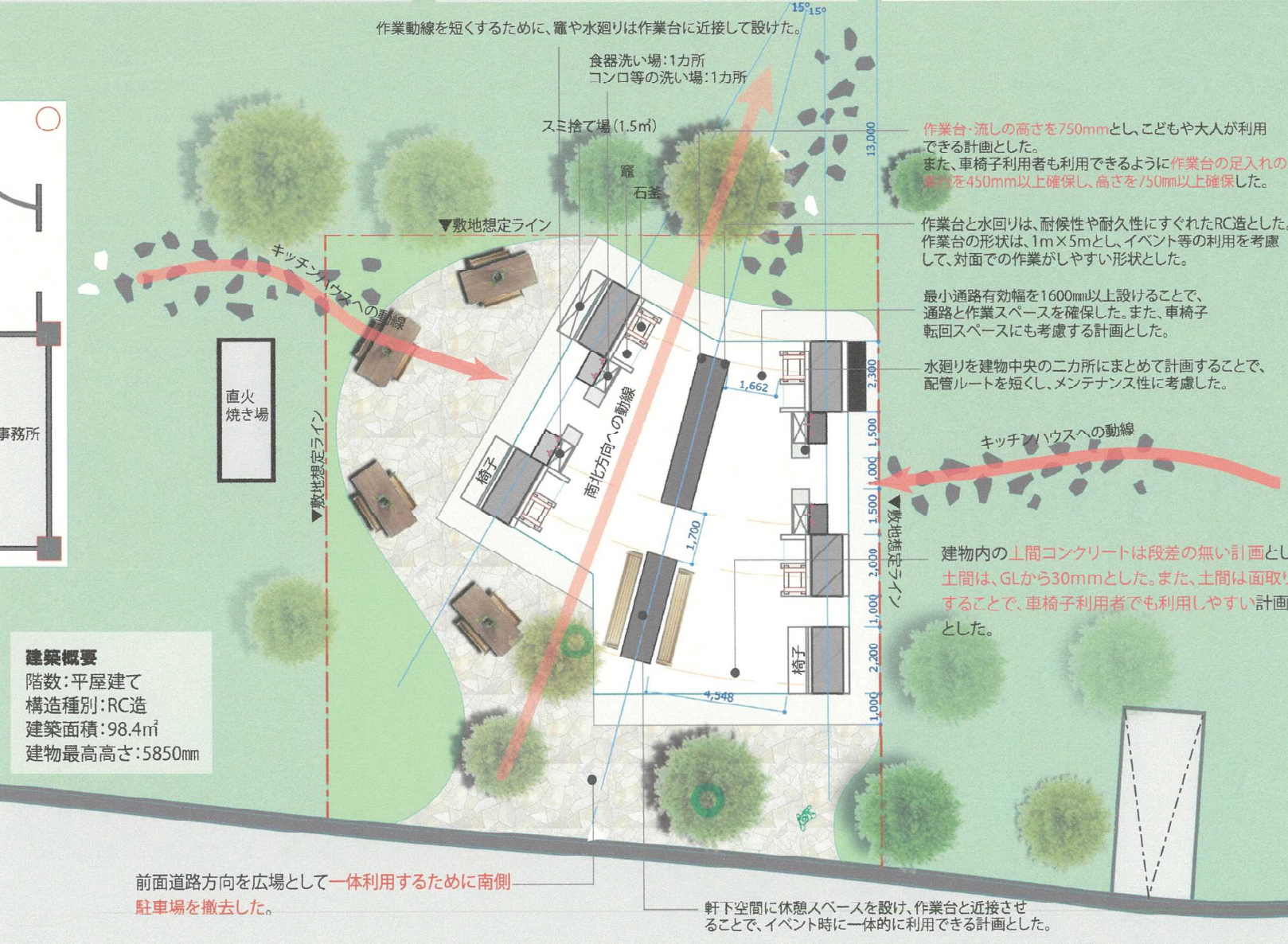
- 水廻りを建物中央の二カ所にまとめて計画することで、配管ルートを短くし、メンテナンス性に考慮した。
- かまどを含め高圧洗浄によるメンテナンスが可能で、水廻りに向け土間コンに勾配を設けることで良好な排水を計画した。
- ライフサイクルコストに配慮し、かぶり厚さを+10mm割増し、中性化による鉄筋の腐食を抑制した。

④ 断面計画について

- ファサードに向かって拡張していく空間は、十二分に取り入れた陽光を内面で反射し、自然で伸びやかな空間を創出する。
- 東西南北の開口部と高天井を設けることで、通風を確保し、臭気と湿気を抑制した。
- 傾斜した高天井により煙の滞留を防いだ。排煙計画は、煙の上昇効果により傾斜屋根に沿ったルートとし、南側屋根から排煙する計画とした。
- 照明計画は、省エネに考慮して人感センサー付きの器具を採用した。



作業動線を短くするために、竈や水廻りは作業台に近接して設けた。



作業台・流しの高さを750mmとし、こどもや大人が利用できる計画とした。また、車椅子利用者も利用できるように作業台の足入れの高さを450mm以上確保し、高さを750mm以上確保した。

作業台と水廻りは、耐水性や耐久性にすぐれたRC造とした。作業台の形状は、1m×5mとし、イベント等の利用を考慮して、対面での作業がしやすい形状とした。

最小通路有効幅を1600mm以上設けることで、通路と作業スペースを確保した。また、車椅子転回スペースにも考慮する計画とした。

水廻りを建物中央の二カ所にまとめて計画することで、配管ルートを短くし、メンテナンス性に考慮した。

建物内の上間コンクリートは段差の無い計画とし、土間は、GLから30mmとした。また、土間は面取りすることで、車椅子利用者でも利用しやすい計画とした。

建築概要

階数:平屋建て
構造種別:RC造
建築面積:98.4㎡
建物最高高さ:5850mm

前面道路方向を広場として一体利用するために南側駐車場を撤去した。

軒下空間に休憩スペースを設け、作業台と近接させることで、イベント時に一体的に利用できる計画とした。



3. 西側開口部から見た建物内部(夕方)



4. 南東側から見た建物内部(昼)



5. 西側側面(昼)